

## 2022年度 環境経営レポート



(対象期間:2022年4月 ~ 2023年3月)

田口建材株式会社



®環境省

エコアクション21

認証番号0009573

発行日 : 2023年 6月30日

## 口ごあいさつ

田口建材株式会社は明治42年の創業以来、時代の変遷と共に建築材料販売に続き、建築土木工事施工、そして産業廃棄物処分と業務拡大に努めて参りました。これからも引き続き継続して努力し、業容を拡大して信頼ある企業として環境保全に対し環境経営システムを通じて、着実に取組んで参る所存ですので、今後ともご愛顧を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

## 環境経営方針

### 〈環境理念〉

田口建材株式会社は、産業廃棄物の中間処理(破碎・圧縮)を始めとする事業活動を通して、環境負荷の削減を積極的に進めることで、持続可能な社会の実現を目指します。また、自然共生社会に資するため、廃棄物燃料を製造するなど企業として役割を担います。

### 〈環境保全への行動指針〉

1. 環境経営システムの継続的改善を図ってゆく
2. 環境関連法規並びにその他協定事項を遵守する
3. 循環型社会の実現に向け、受託産業廃棄物の処分において、化石燃料の代替燃料化を促進するなど産業廃棄物のリサイクル事業を充実させる(製品・サービスにおける環境配慮)
4. 低炭素社会に貢献するため、使用する燃料、電力を低減しCO<sub>2</sub>削減に寄与する
5. 事業活動に伴う場内における水使用量の節水に努める
6. 自社が排出する廃棄物を適正に処理する
7. 環境経営方針は、すべての従業員に周知徹底をして、社外にホームページにて公開する

制定日： 2012年 8月27日

改訂日： 2020年10月15日

代表取締役 田口 浩和

## 取組の対象組織・活動

### □ 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

田口建材株式会社  
代表取締役 田口浩和

(2) 所在地

本社・倉庫 : 兵庫県明石市大明石町2-8-2  
明石大久保リサイクルセンター : 兵庫県明石市大久保町松蔭字堂屋敷342-36  
大久保資材置場 : 兵庫県明石市大久保町大窪字戌亥谷2751

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者及び担当者 : 代表者が兼務  
TEL: 078-912-3761

(4) 事業内容

建築材料販売、建築土木工事及び産業廃棄物処分業

(5) 事業の規模

法人設立年月日 : 昭和48年4月2日  
資本金 : 4,455 万円  
売上金 : 52,184.86 万円 (2022年度)

	明石大久保リサイクルセンター
従業員	15名
延べ床面積	9,670㎡

受託した産業廃棄物の処理量

中間処理量	51,106.30t	うち再資源化	47,771.39t
(中間処理量の品目内訳)			

廃プラスチック類	461.29t
木くず	31,786.75t
がれき類	18,361.08t
繊維くず	431.75t
ガラスくず・陶磁器くず(廃石膏ボード含む)	65.43t
中間処理後の産廃の最終処分量	3,334.91t

車両台数

車種	台数
パワーショベル	5台
タイヤショベル	2台
フォークリフト	4台
軽車両	1台
乗用車	1台
合計	13台

主要設備

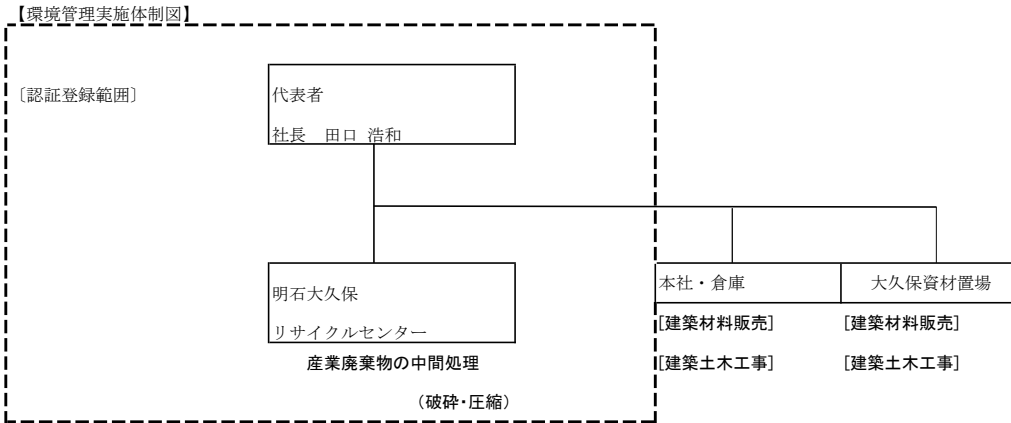
名称				
産業廃棄物処理施設	3基	破砕・圧縮	廃プラスチック類	43.95t/日
			木くず	550.00t/日
			がれき類	1,750.00t/日
			繊維くず	37.86t/日
			ガラスくず・陶磁器くず (廃石膏ボード含む)	1,420.00t/日

(6) 事業年度

4月～3月

□ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 田口建材株式会社  
 対象事業所： 明石大久保リサイクルセンター  
 活動： 産業廃棄物の中間処理（破碎・圧縮）  
 対象外： 本社・倉庫 2023年に拡大予定  
 大久保資材置場 2023年に拡大予定



【役割・責任・権限表】

代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施・管理及び実施に必要な人、設備、費用・時間、技能・技術者を準備</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の策定・見直し</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境関連法規の取りまとめ</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書の作成</li> <li>全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境経営レポートの作成</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正・予防処置の実施</li> </ul>
一般社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的環境経営へ参加</li> </ul>

□許可・登録の内容

種類	発行者	許可番号 許可の年月日 許可の有効年月日	産業廃棄物の種類							
			がれき類	コンクリートくず 及び陶磁器くず	ガラスくず	木くず	廃プラスチック類	紙くず	繊維くず	ゴムくず
産業廃棄物中間処理(破碎)	兵庫県	第12724022586号 令和4年3月8日 令和11年3月7日	●	●	●	●	●	●	●	●
産業廃棄物中間処理(圧縮)	兵庫県	第12724022586号 令和4年3月8日 令和11年3月7日				●	●	●		

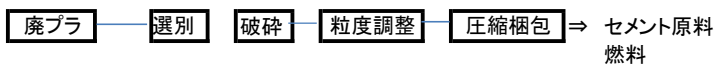
□処理料金

処理料金は別途定める単価表により徴収します。

□廃棄物処理フロー

<明石大久保リサイクルセンター>

産業廃棄物受入



□ 主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年度 (4月～3月)	2019年度 (4月～3月)	2020年度 (4月～3月)	2021年度 (4月～3月)	2022年度 (4月～3月)
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	918,137	837,049	825,731	904,905	931,009
電力使用量	kWh	190,978	197,454	207,738	211,739	183,786
軽油使用量	L	313,978	280,866	297,253	315,504	329,188
廃棄物排出量	トン	3,206	3,895	3,065	2,906	4,093
一般廃棄物排出量	トン	約0.5	約0.5	0.48	0.48	0.48
処理後廃棄物排出量	トン	3,206	3,895	3,065	2,906	4,093
水使用量	m <sup>3</sup>	111	111	226	259	319

※二酸化炭素排出係数は、関西電力㈱ 2016年度実績値（調整後）0.493kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用（2018年～2019年度）。

※2020年度以降は、関西電力㈱ 2020年度実績値（調整後）0.351kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用。

□ 環境経営目標及びその実績

項目	年度	2020年度 基準年	2022年度		2023年度	2024年度
			目標 (%)	実績	目標 (%)	目標 (%)
二酸化炭素排出量 総量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	825,731	809,217	931,009	800,959	792,702
	kg-CO <sub>2</sub> /t	17.116	16.774	18.217	11.807	11.674
	基準年度比		98%	109% ×	97%	96%
	達成率			90%		
電力使用量	kg-CO <sub>2</sub>	72,916	71,458	64,325	70,729	69,999
	kWh	207,738	203,583	183,786	201,506	199,428
電力の二酸化炭素 排出量削減	kWh/t	4.346	4.259	3.596	2.055	2.033
	基準年度比		98%	84% ○	97%	96%
	達成率			116%		
軽油使用量	kg-CO <sub>2</sub>	780,093	764,491	863,901	756,690	748,889
	L	297,253	291,308	329,188	288,335	285,363
軽油の二酸化炭素 排出量削減	L/t	6.207	6.083	6.483		5.840
	基準年度比		98%	107% ×	97%	96%
	達成率			92%		
受託廃棄物の リサイクル率の向上	%	93%	95%	88%	96%	97%
	基準年度比		102%	94% ×		
	達成率			92%		
節水（上水道）	m <sup>3</sup>	226	221	319	221	219
	基準年度比		98%	144% ×	98%	97%
	達成率			68%		
受託産業廃棄物の 代替燃料化促進 <sup>①</sup>	t	19,752	20,147	16,242	20,345	20,542
	基準年度比		102%	81% ×	103%	104%
	達成率			79%		

- ・未達成項目があれば理由を記載
- ・二酸化炭素排出量の総量、電力の二酸化炭素排出量、軽油の二酸化炭素排出量の原単位については、中間処理量1t 当たりを示す。
- ・自社廃棄物削減の目標設定については、年間約0.48 t と少量で事務所から出る紙屑が主であり、適正に処理することで維持活動とした。
- ・受託廃棄物のリサイクル率の2022年度実績＝再資源化量 47,771.39 t / 中間処理量 51,106.30 t
- ・節水にて、地下水は使用量が微量でメーターがないため、使用量が不明である。
- ・上水道の使用量増加は、基準年度が破砕機オーバーヒート対策の、冷却装置導入前の数値であるため。
- ・受託産業廃棄物の代替燃料化促進未達成については基準年度がサーマルリサイクルの排出先からマテリアルリサイクルの排出先へ切り替わる前の数値であること。
- ・ガソリン使用量は、二酸化炭素排出量総量の約0.3%と影響が極小であるため省略した。
- ・化学物質については、これを使用してないため、目標に設定しない。

① 1 受入廃棄物を破砕処理し、木材チップ・廃プラ（梱包）をバイオマス発電等で使用。

## □環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった  
 取り組み計画 今年度数値目標結果 (達成 未達成)

取り組み計画	達成状況	評価 (結果と次年度の取組内容)
<b>二酸化炭素排出量総量の削減 (未達成)</b>		
・下記の通り。	×	・軽油使用量が増加していることもあり、目標未達となっている。
<b>電力による二酸化炭素排出量の削減 (達成)</b>		
・昼休み等不必要なものは消灯	◎	・取り扱い総量が減少していることもあり、2022年度の電力使用量が減少している、 ・引き続き、省電力に努める。
・ロッカー室、トイレ等は使用時のみ点灯	◎	
・OA機器の省電力設定	○	
・OA機器の夜間休日の主電源OFF	◎	
・空調の必要区域、時間に使用を限定	◎	
・使用していない部屋の空調停止	◎	
<b>重機燃料 (軽油) による二酸化炭素排出量の削減 (未達成)</b>		
・不要なアイドルリングを防止した省燃料運転	○	・木くず破砕機の稼働が増加していることもあり、軽油の使用量が増加している。 ・今後の稼働状況を考慮し、基準年度の変更の必要性を検討する。
・エンジンの回転数を下げた省燃料運転	○	
・オイルや燃料タンクなどのメンテナンスを行	○	
・過負荷作業を防止した省燃料運転	○	
<b>受託産業廃棄物のリサイクル率の向上 (未達成)</b>		
・低騒音型機器使用で測定、監視を実施	○	・顧客の発電事業撤退等もあり、リサイクル率が低下している。 ・リサイクル製品の販売促進に努める。
・事故対応マニュアルを作成している	○	
・環境マネジメント規格の認証取得者と契約	△	
・リサイクル製品の販売促進に積極的に取り組む	×	
・優良性の評価基準以上の情報提供を行う	○	
・稼働率の向上に努めている	○	
・施設設備の維持管理の独自の体制を設ける	△	
・		
<b>節水 (未達成)</b>		
・地下水の利用	◎	・散水量の増加により、水使用量が増加している。 ・引き続き、節水に努める。
・手洗い等、日常的に節水の励行	△	
<b>受託産業廃棄物の代替燃料化促進 (未達成)</b>		
・顧客の拡大を計る	○	・製紙燃料への出荷が低下したため、目標未達であった。 ・顧客の拡大を計る。
・取扱量を増加させる	△	
・排出先の拡大を計る	○	

## □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	遵守すべき主な事項	遵守評価
廃棄物処理法	中間処理の適正実施、契約・マニフェスト等の適正管理	適合
大気汚染防止法	土石用破砕機などの排ガス基準の遵守	適合
騒音規制法	破砕機・圧縮機・ふるい等の騒音規制値の遵守	適合
振動規制法	破砕機・圧縮機・ふるい等の振動規制値の遵守	適合
消防法	木くず等指定可燃物の管理、消防設備の管理	適合
雨水排水の水利組合との協定	雨水排水の目視点検	適合
フロン排出抑制法	7.5kW未満の空調機器の簡易点検の実施と記録保存	適合

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていた。

なお、違反、訴訟等も過去3年間なかった。

## □環境活動の紹介

- ・市道大久保23号線及び302号線沿いの清掃、産業資源循環協会の清掃活動に参加

社会的貢献として、公道沿いの緑地を整備を行う。

2022年12月29日(木) 市道大久保23号線及び302号線の清掃  
実施者：明石大久保リサイクルセンター作業員



2022年11月21日(土) 産業資源循環協会 舞子公園清掃活動





## □代表者による全体の評価と見直し・指示

認証登録の2013年8月以来、今回で6回目の更新審査となります。  
当社の産業廃棄物の中間処理施設を登録範囲として取り組んでいますが、  
目標5項目の内、3目標の設定を指数的な要因を計る原単位として取り組んでいます。

その結果、処理量の増減に影響されることなく、目標値がより正確に表すことが出来ているとおもわれます。  
前回より基準値の修正を行い、より実態に則した目標設定になっており、環境経営活動に今以上活かせることを期待しています。

この結果を真摯に受け止め引き続き目標達成に向け、環境活動を継続していく事が、大切であると考えています。  
その具体的な行動として、月1回行われる全員参加のミーティングにおいて、EA21の環境活動を議題にあげ、  
全従業員で取り組みを行う為の意識付けと具体的に行動ができるよう知恵を出し合い、考えを共有しています。

目標達成に向け、一致協力して業務に当れば必ず良い結果が現れる事を信じて努力して行く所存です。  
なお、環境経営方針、環境経営計画及び実施体制については、従来通りとし、変更はありません。  
環境経営目標については、必要に応じて、規準年の変更の必要性等を検討する。

2023年6月30日

代表取締役 田口 浩和